

令和 7 年度 岩手県立盛岡北高等学校
第 1 回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）会議録

1 日時 令和 6 年 5 月 13 日（火）15:20～16:30

2 場所 本校南講義室

3 出席者

学校運営協議会

森 英記（会長） 村上貢一（副会長） 野原勝博 天野哲彦 阿部大我
白藤桂子 坂本 斉

本校教職員

嶋 隆（校長） 五十嵐忠義（副校長） 西川恵理子（事務長）
及川渉（総務主任代理） 谷口寛（教務主任） 平野利浩（生徒指導主事）
田上洋一（進路指導主事） 阿部恵子（保健主事）
高見延也（図書視聴覚主任） 大峠要（総務記録）
久保朱美（創立 50 周年記念海外派遣事業担当）

4 次第

- （1） 委嘱状交付
- （2） 学校運営協議会会長挨拶
- （3） 校長挨拶
- （4） 学校概況説明
- （5） 協議

ア 本年度の学校経営計画について
イ 働き方改革アクションプランについて
ウ その他

- （6） 報告
創立 50 周年記念海外派遣事業について
- （7） 学校運営協議会委員より御提言

5 記録

○学校運営協議会会長挨拶

- ・ 希望の進路実現に向けて、高総体に向けて、悔いの残らないよう生徒・教員ともども日々の活動を充実させてもらいたい。
- ・ 県立高校再編会議については注視を続けたい
- ・ 50 周年事業で実施した海外派遣事業は良い経験となったと感じている。派遣先とのつながりを今後の発展につなげてもらいたい。

○校長挨拶

地域の声を学校運営に生かし、より良い学校にするため活発な意見をお聞きたい。

○学校概況説明撈

令和7年度年間行事予定、教育課程、生徒出身中学校、昨年度の進路状況、DXハイスクールの取組について、副校長から説明を行った。

○協議

ア 本年度の学校経営計画について

学校経営計画について、校長、副校長、各分掌主任から説明した後、学校運営協議会委員からの質問、意見等をいただいた。

質疑：ICTを活用した学習支援やアクティブラーニングを活用した授業、「＋日報」の活用などは本校独自の取り組みなのか？それとも業者からの提案をそのまま採用したものなのか？

回答：「スタディサプリ」や「＋日報」の概要を例示し、各業者から提供された学習教材を本校の実情に合わせて使用している。

イ 働き方改革アクションプランについて

今年度の教職員の働き方改革アクションプランについて、副校長から説明を行った。

ウ その他

特になし

○報告

創立50周年記念海外派遣事業について、台湾の慈済高校での交流の様子を動画で紹介しながら、海外派遣担当から報告を行った

○学校運営協議会委員より御提言

- ① 台湾との交流事業など学内や国内にとどまらない様々な取り組みが素晴らしい。
- ② トイレの状況など県立高校の教育環境の整備は遅れており、早急の対応が必要であると感じる。
- ③ 学校生活アンケートなどを通して生徒たちの小さな変化に気づこうとしている点や生徒たちから発言を引き出そうとしている点にも感心した。
- ④ DXハイスクールの取組について、文科省は探究活動でのICTツール活用の充実や「情報Ⅱ」との関連を深める活動を想定していると思うが、そのためには「情報」の教員の指導・助言が必要であり、それについては大学院生が協力できるのではないか。

- ⑤ アンケートなどをＩＣＴツールを用いて実施した結果、得られるデータ量が増加し、それに伴って教員の仕事量が増えるのではとの懸念もあり、分析の前段階としてのデータのふり分けにＡＩを活用するなどの省力化を図る必要がある。
- ⑥ 昨年度、多くの生徒に滝沢市との共同作業に参加してもらっており、今年度も継続をお願いしたい。
- ⑦ 教員のワークライフバランスに関して、教員の長期病休などがあった場合、他の教員の業務増加につながらないような対応を検討していく必要があるのではないか。